

市民の不安に応える市政に



社民・民進・護憲クラブ
平嶋 慶三 議員

市長の政治姿勢

問 厳しい財政状況を踏まえ、今後の総合計画（アクションプログラム）の見直しについてはどう考えているのか。

答 本市の財政状況は実質的に赤字の状況で、31年度まで財源不足が続くと見込まれる。行政評価や検証結果を踏まえ、スクラップ&ビルドを基本に、より効果的な事業へと改善を図っていく必要がある。

三池港のヒアリ侵入への対応

問 国・県の対応・対策と、本市の対応について伺う。

答 県では、公共埠頭やコンテナヤード内に捕獲用粘着わなや殺虫餌を設置。国土交通省においては、生息環境となり得るコンテナヤードの舗装のすき間を埋める緊急工事が実施された。三池港は、これまでヒアリは確認されておらず、引き続き調査が実施されると聞いている。

国・県・関係機関と連携・協力しながら、早期対応を図っていききたい。

動物愛護の現状と課題

問 本市の近年の犬・猫殺処分現状を伺いたい。

答 平成25年度は219件、26年度は67件、27年度は29件、28年度は0件。今年度も現在0件となっている。

再発言 これからも殺処分0件を目指して努力してほしい。また、市動物管理センターの施設は建てかえの時期を過ぎている。今後建てかえるときは「処分」施設ではなく「愛護」施設とすべき。検討を。

本市のため池等の安全性

問 7月の九州北部豪雨では、ため池が決壊するなどして甚大な被害が発生している。

25年から2カ年にかけて県内のため池一斉点検が実施されているが、本市の豪雨による整備が必要なため池点検結果について聞きたい。

答 緊急整備の優先度が高いため池はなかったものの、詳細な点検等が必要なため池は、山間部の極小なため池3カ所という結果が出ている。

再発言 市民にため池の決壊を、どういち早く伝えるかが極めて大事であり、情報のおくれが命を左右することから、市民への情報伝達方法の検討を要望する。

母子家庭（ひとり親）の本市支援策

問 母子家庭（ひとり親）への支援状況を伺う。

答 経済的支援としては、児童扶養手当の給付や医療費助成など。就労支援としては、ハローワークと連携した就職支援、資格取得を目指す方への高等職業訓練促進給付金、能力開発のための教育訓練講座を受講する方への支援など。

生活面や育児等の困り事については、子ども家庭課で相談を随時受け、関係機関と連携するなどして具体的な支援につなげている。

再発言 役所には相談に行きにくいという意見もある。女性センターのような支援拠点も必要では。検討を要望する。

部落差別解消推進法施行後の課題

問 近隣市には施設が整備され、人権啓発や多彩な地域交流等が行われている。拠点があるから発想や取り組みも生まれると思う。本市にもこういった拠点が必要ではないか。

答 制定された法律の趣旨を踏まえ、関連機関等と連携し、議員からの提案も参考にしながら人権啓発に係る拠点機能を充実させていきたい。



ヒアリ